

命を守るということ

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。夏休みの間、子どもたちは家庭や地域でさまざまな経験をし、一回り成長したことと思います。9月からも、子どもたち一人ひとりが安心して学校生活を送り、自分らしく学び、友だちと関わるができるよう、教職員一同、しっかりと見守ってまいります。

さて、今年の夏、私たちは改めて「命を守ること」の大切さを考えさせられる出来事に直面しました。7月28日、熊本県熊本地方を震源とする地震が発生し、熊本県内では最大震度 7 を観測しました。多くの方が被災し、尊い命が失われ、家屋や道路などにも大きな被害が生じました。現在も、避難生活を余儀なくされている方や、復旧・復興に向けて懸命に取り組んでおられる方がいます。

また、今年は千葉県をはじめ、全国各地で豪雨による災害も発生しています。大雨による浸水や土砂災害など、私たちの身近なところでも、自然災害によって日常の生活が突然奪われる可能性があります。災害によって亡くなられた方々に心より哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早く安心できる生活を取り戻されることを願っています。

地震や豪雨などの自然災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ、私たちは「災害が起きてから考える」のではなく、「起きるかもしれない」と考え、日頃から備えておくことが大切です。学校では、避難訓練や防災学習を行っています。訓練では、ただ「先生の指示に従って避難する」のではなく、なぜそのような行動が必要なのか、自分の命を守るためには何を考え、どのように判断すればよいのかを、子どもたちと一緒に考えていきたいと思っています。そして、こうした「命を守る学び」は、学校だけで完結するものではありません。ぜひ、ご家庭でもお子さまと一緒に話をしたいと思っています。

「大きな地震が起きたら、家の中のどこが安全だろう」「大雨で避難するとしたら、どこに行けばいいだろう」「家族が離れているときに災害が起きたら、どうやって連絡を取るのだろう」

このような問いについて、家族で一緒に考えてみてください。避難場所や連絡方法を確認したり、防災用品を見直したりすることも大切です。子どもたち自身が「自分の命を守るために、自分には何ができるのか」を考える機会にしていいただければと思います。

災害は、私たちの「いつもの日常」を突然変えてしまいます。しかし、日頃から家族や学校、地域で「命を守る」ことについて考え、互いに支え合う準備をしておくことはできます。

子どもたちが、自分の命を大切に、そして誰かの命や心を大切にできる人へと成長していくことを願っています。学校と家庭、地域が力を合わせ、子どもたちにとって「安心できる場所」を、これからも一緒につくっていただきますようご協力をお願いいたします。

校長 清水 高志



たくさん子どもたちが参加して
いました♪
スタンプをたくさん集められて
嬉しそうな様子が見られました！

月	火	水	木	金	土	日
24	25	26	27	28	29	30
	始業式 (3時間授業)	給食開始 5時間授業 国際クラブ 発育測定 (5・6年)	全校集会 発育測定 (3・4年)	発育測定 (1・2年)		
31	1	2	3	4	5	6
Teams 朝会	880万人訓練 後期用教科書 配布	Birthday メッセージ集会 (8月) 委員会活動	栄養指導(6年) 学校説明会 (10:00～) フッ化物洗口(4年)			
7	8	9	10	11	12	13
Teams 朝会		Birthday メッセージ集会 (9月) クラブ活動 修学旅行保護者説明会 (16:00～多目的室)	バトレンジャーMT	非行防止教室 (5年)		
14	15	16	17	18	19	20
Teams 朝会		全校集会 平和学習 車いす体験(4年)	修学旅行前検診 (6年)	校内研究授業		
21	22	23	24	25	26	27
敬老の日	国民の休日	秋分の日	栄養指導(4年)	定時閉庁日	SEA キャンプ	SEA キャンプ
28	29	30				
全校集会 委員会活動 卒業アルバム写真	栄養指導(3年)	前期終了 かがやき配布 給食後下校 全校朝会				